まちなか魅力創生PT

令和4年度最終報告



- 1. キックオフミーティング(前年度PTの取組を確認)
- 2. まちなかをまち歩き
- 3. 魅力掘り起こしワークショップ
- 4. 視察

まち歩き、ワークショップ、視察をとおして

見えてきたもの



中心市街地において日常的な人の往来は かなり少なくなっている

各種イベントや祭、夜市などで人は集まる

平日の賑わいを生み出すことは出来ないのか

日常 = 平日の顔

エリア内に住んでいる人、通勤で通る人 エリア内で働いている人

ライフスタイル、ルーティンワーク

非日常 = 土日祝日の顔

エリア外に住んでいる人、観光客

体験、娯楽、家族サービス、趣味



魅力あるまちなかの実現には 多様な主体の参画と連携が必要

プレーヤーの発掘と連携につなげるための 「交流」の場が必要 令和5年度の取組

公共空間等における滞在空間の創出

公共空間等における滞在空間の創出

概要:公共空間等を地域の憩いの場、活動の場、交流の場にする。

趣旨:使われていない公共空間を居心地が良く、使われる空間へと変えていくことで、多様な人材や関係人口を呼び込む。そこで人々が交流し、滞在する空間が形成され、新たなネットワーク、コミュニティの創出につながっていく。

「つかって、つくる」











【想定する場所 (エリア) と内容】

①芝っち広場 (大丸跡地)



平日の無料開放

②JR今治駅前



オープンスペースの有効活用

③旧日吉小学校



人が集まる仕掛けを誘導

④広小路・今治商店街



ウォーカブルな空間への転換

ウォーカブルなまちづくり関連の企画

●ウォーキングイベントの開催

- ・まちなかウォークラリー大会(まちなか魅力発見)
- ・コスプレウォーキング大会
- ・ペットを連れた散歩イベント

●ウォーキングマップの作成

- サラリーマン向けコースマップ作成
- ・まちなかに特化したルートをテーマ別に複数作成

●ウォーキングルートの整備

- ・歩きたくなる道路の整備
- ・休憩所や距離表示、街灯など環境整備

●インセンティブの活用

・健康づくり応援ポイント事業との連携など

●デジタル技術の活用

・アプリ・AR技術を活用した、そこにしかない体験ができる空間に

●周辺店舗との連携

まちなかクーポンの発行



